

今津中学校 学校運営組織図



《企画・運営委員会》→校長・教頭・教務主任及び
生徒指導主事・研究主任・進路指導主事・各学年長など

重点目標	主体的進路選択力の向上
達成指標	○自分の選択した進路について、その理由を説明できる生徒80% ○自分の選択した進学先に合格できる生徒80%
担当	○教務主任・研究主任を中心に→各学年長など

重点目標	個人や集団の誇り意識の高揚
達成指標	○自分や学校及び地域には良いところや誇れるところがあると言える生徒70% ○図書カード等を子どもに贈った家庭10%
担当	○教務主任・生徒指導主事を中心に→各学年長など

※教務部と研究部の連携

【重点的取組】	【取組指標】
○個に応じた指導の徹底を図る	※ 毎週、学年会議などを持ち、各生徒の変容等を確認する
○家庭学習の習慣化を図る	※ 毎日、学年主任等が提出物チェックと助言を行う
○進路選択情報知る場の設定	※ 毎月、管理職等が進路情報発信状況を把握し、指導する
担当	※教務主任（田邊）と研究主任（環）が連携し、各学年への助言と支援などを行う 1 学年長（久恒）・2年（田辺和美）・3年（田辺）

※教務部と生徒指導部の連携

【重点的取組】	【取組指標】
○生徒指導3機能を生かした授業改善を図る	※毎月、教務主任等が生徒指導3機能チェックリストを活用した検証を実施する
○自分の“強み”を知る場やつくる場を設定する	※毎日、1分間スピーチに取り組む等、挑戦の場を設ける
○徹底した広報を行う	※HPや各種便り等に載せる（公民館だよりにも掲載）
担当	※教務主任（田邊）と生徒指導主事（小家）が連携し、各学年長への助言と支援を行う 1 学年長（久恒）・2年（田辺和美）・3年（田辺）

⇔

- 「個に応じた学習指導」「協働的な学習」にかかる研究計画・集約・まとめ→環
- 「家庭学習の習慣化」に向けた計画・集約・まとめ→田辺和、各学年長（久恒、田辺和、田辺）
- 「進路選択情報知る場の設定」→田辺和、（久恒、田辺、田辺）

⇔

- 生徒指導3機能チェックリストを活用した検証→田辺和、小家、各学年長（久恒、田辺和、田辺）
- 1分間スピーチに取り組む等、挑戦の場を設定→田辺和、小家、各学級担任（泊、小家、環）
- HPや各種便り等に載せる→田辺和、小家、管理職

※思春期真っ直中における部活動は有用な活動である。よって、教員の平均年齢55才超などを考慮した機動的で短時間会議の設定等が不可欠